

# 福島第一原子力発電所の状況

2015年5月20日  
東京電力株式会社

## <1. 原子炉および原子炉格納容器の状況> (5/20 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.0 m <sup>3</sup> /h	20.8 °C	0.6 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約2.4 m <sup>3</sup> /h			B系： ー※ vol%
2号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h	27.5 °C	5.48 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約1.8 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.03 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心スプレイ系：約2.3 m <sup>3</sup> /h	24.3 °C	0.25 kPa g	A系： 0.03 vol%
		給水系：約2.0 m <sup>3</sup> /h			B系： 0.05 vol%

※ 作業に伴いデータ欠測。

## <2. 使用済燃料プールの状況> (5/20 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	使用済燃料プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	22.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	21.4 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	19.8 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	18.1 °C

※ 各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘビドラジンの注入を適宜実施。

## <3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況>

号機	排出元	→	移送先	移送状況
2号機	2号機 タービン建屋	→	3号機タービン建屋	5/18 10:51 ~ 5/19 14:59 移送実施
		→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/19 15:53 ~ 移送実施中
3号機	3号機 タービン建屋	→	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	5/19 15:40 ~ 移送実施中

## <4. 水処理設備および貯蔵設備の状況> (5/20 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転 状況	停止中*1	運転中*1	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中*2	ホット試験中*2	ホット試験中*2

\*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。

\*2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

## <5. その他>

・2014/6/2～ 陸側遮水壁工事を開始。

2015/4/30 12:00～ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1～4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。

・1～3号機放水路については、1号機放水路上流側立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施しているが、5/13に採取した2号機放水路上流側立坑水の全ベータの値およびトリチウムの値が前回値と比較して大幅に高い濃度であることを確認。その後の分析結果は以下の通り。

	5/18 採取	5/19 採取
セシウム 134 :	110Bq/L	580Bq/L
セシウム 137 :	310Bq/L	2,100Bq/L
全ベータ :	45,000Bq/L	6,400Bq/L
トリチウム :	1,700Bq/L	分析中

分析結果については、5/18からの降雨により5/19採取分の全ベータ放射能は低下し、セシウムは表層汚染の流れ込み等により上昇していることを確認。なお、5/18採取分のトリチウム濃度は前回値(5/17採取分:1,700Bq/L)と比較して変化なし。引き続き、同立坑の監視強化を行うとともに、上昇原因について調査を実施する。

### 【1号機原子炉建屋カバー解体作業】

・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。

建屋カバー解体作業は、飛散防止剤散布等のダストの飛散抑制対策を十分に実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分に行いながら慎重に進めていく。

5/15 6:45～5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタ及びモニタリングポストのダスト濃度等に、有意な変動は確認されていない。

5/26 頃～ 建屋カバー屋根パネル(計6枚)の取り外し作業を開始予定。屋根パネルの取り外し作業は、オペレーティングフロア上の瓦礫調査等を実施しながら、順次屋根パネルを取り外す。なお、作業にあたっては、屋根パネル取り外し部分からの飛散防止剤散布を実施するとともに、ダストモニタおよびモニタリングポストにてダスト濃度等の監視を十分に行いながら慎重に進める。

### 【海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況】

【2号機】・2015/2/24～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。

【3号機】・2015/5/2～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。

【4号機】・2015/4/15～ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

### 【地下水バイパス揚水井の状況】

・地下水バイパス揚水井 No.1～12 のサンプリングを継続実施中。

・地下水バイパス一時貯留タンクグループ1の当社および第三者機関による分析結果[採取日 5/8]については同等の値であり、ともに運用目標値を満足していることを確認。5/19 10:10より海洋への排水を開始。同日 10:13に漏えい等の異常がないことを確認。同日 17:13排水を停止。排水停止状態に異常がないことを確認。なお、排水量は 1,748m<sup>3</sup>。

### 【H4,H6エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連】

<H4エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

<H6エリア周辺のサンプリング実績>

・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

### 【タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況】

<地下水観測孔サンプリング実績>

・5/18に採取した地下水観測孔 NO.1-17 のセシウム 134 及びセシウム 137 の値については、前回値(5/14採取)でセシウム 134 が検出限界値(0.45Bq/L)未満、セシウム 137 が 0.60Bq/L だったが、今回はセシウム 134 が 42Bq/L、セシウム 137 が 150Bq/L と上昇。

なお、当該観測孔でのガンマ核種濃度や全ベータ放射能および当該観測孔周辺の観測孔における分析値については、前回値と比較して有意な変動は確認されていない。今回の上昇については、新たな汚染水の流入ではなく、分析の過程における放射性物質の混入も考えられることから、次回、同観測孔の水を採取して再確認する。

また、港湾内の分析結果において、前回と比較して有意な変動がないことから、現時点で外洋への影響はないものと考えている。今後も引き続き監視を継続していく。

・その他については、前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

**【地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績】**

＜地下貯水槽サンプリング実績＞

- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

以上